

船舶事故調査報告書

平成24年8月2日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成24年2月24日（金） 06時00分ごろ～25日（土）01時25分ごろの間）
発生場所	不明（長崎県長崎市脇岬港～長崎市所在の樺島灯台の南西方16.5km付近の間）
事故調査の経過	平成24年2月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 下田丸、5トン未満 292-25668長崎、個人所有 4.79m (Lr) × 1.54m × 0.63m、FRP ガソリン機関（船外機）、11kW、昭和50年2月
乗組員等に関する情報	船長 男性 79歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成16年5月14日 免許証交付日 平成21年4月20日 (平成26年5月16日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	船長は、平成24年2月24日05時00分ごろ、釣りのため、自宅を出たのち、車で約1時間の脇岬港内の係船場所に向かった。 本船は、船長が1人で乗り組み、05時00分ごろ自宅を出た場合には、06時00分ごろ同港を出港していたが、船長は、帰宅予定の24日17時00分を過ぎても戻らないことから、家族が118番通報し、海上保安庁が捜索していたところ、25日01時25分ごろ、樺島灯台の南西方16.5km 付近において、本船が無人で漂流しているところを巡視船が発見した。 船長は、航行中の貨物船により、26日16時30分ごろ、樺島灯台から真方位256° 7,000m付近において、漂流しているところを発見された。 船長の死因は溺水であり、死亡推定時刻は24日11時00分ごろと検案された。 本船は、巡視船により脇岬港にえい航された。

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 晴れ、風速 約1～8m/s 長崎市に強風注意報発表中</p>	
<p>その他の事項</p>	<p>船長は、ふだんから釣りに行くときは、15時00分ごろ帰港後、17時00分ごろには帰宅していた。 本船は、錨を投入していたものの、海底に届いていない状態で漂流しているところを巡視船に発見された。 船長は、上下合羽の上に膨張式の救命胴衣を着用し、長靴を履いた状態で漂流しているところを発見され、救命胴衣は膨張していた。 船長の身体には、外傷が認められなかった。 本船には、衝突痕が認められなかった。</p>	
<p>分析</p>	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明 船長の死因は、溺水であった。 本船は、24日06時00分ごろ脇岬港を出港後、25日01時25分ごろ樺島灯台南西方沖で無人で漂流しているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、船長が落水した状況を明らかにすることはできなかった。 船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、脇岬港を出港後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	